

教科(科目)	地理歴史（地理総合）	単位数	2単位	学年(コース)	1年次
使用教科書	実教出版『地理総合』				
副教材等					

### 1 学習目標

地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取組などを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けさせる。

地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察・構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養わせる。

地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとする大切さについての自覚などを深めさせる。

### 2 指導の重点

多様な生育歴・学習歴をもつ生徒が多いことから、

- (1) 地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取組などを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けることを目指します。
- (2) 地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養うことを目指します。
- (3) 地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される自国や世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとする大切さについての自覚などを深める。

### 3 評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取組などを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめている。	地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりしている。	地理に関わる諸事象について、国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。

### 4 評価規準と評価方法

	評価は次の観点から行います。		
	知識・技能 a	思考・判断・表現 b	主体的に学習に取り組む態度 c
評価の観点	地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取組などを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめている。	地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりしている。	地理に関わる諸事象について、国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。

評価方法	以上の観点を踏まえ、 ・ 定期考査の分析 ・ 作業活動での表現の観察 ・ レポートやワークシート、意見文、プリント・ノートなど提出物の内容の確認 などから、評価します。	以上の観点を踏まえ、 ・ 定期考査の分析 ・ 授業中の取組の様子を観察し評価する。 ・ レポートやワークシート、意見文、プリント・ノートなど提出物の内容の確認 ・ 学習活動の振り返りシートの記述などから、評価します。	以上の観点を踏まえ、 ・ 授業中の取組の様子を観察 ・ レポートやワークシート、意見文、プリント・ノートなど提出物の内容の確認 ・ 振り返りシートの記述の分析 などから、評価します。
------	--	--	---

## 5 学習計画

	単元名	時間	学習活動	評価の観点	評価方法
前期	<b>第1編 地図や地理情報システムでとらえる現代世界</b> 1. 球面と平面 2. 緯度と経度 3. 日常生活のなかの地図 4. 国家の領域 5. 日本の位置と領域 6. 国家間の結び付き 7. モノ・人・情報のグローバル化 8. 世界の交通、物流と日本 9. 観光のグローバル化	2	・現代世界の地域構成を示した様々な地図の読図などを基に、方位や時差、日本の位置と領域、国内や国家間の結び付きなどについて理解する。 2 ・日常生活の中で見られる様々な地図の読図などを基に、地図や地理情報システムの役割や有用性などについて理解する。 2 ・現代世界の様々な地理情報について、地図や地理情報システムなどを用いて、その情報を収集し、読み取り、まとめる基礎的・基本的な技能を身に付ける。	a, b	出席 学習態度
	<b>第2編 国際理解と国際協力</b> <b>第1章 生活文化の多様性と国際理解</b> <b>グループ1 自然環境と生活文化</b> ■テーマ1 地形と生活文化 <b>前期中間考査</b>	1	1 ・現代世界の地域構成について、位置や範囲などに着目して、主題を設定し、世界的視野から見た日本の位置、国内や国家間の結び付きなどを多面的・多角的に考察し、表現する。 1 ・地図や地理情報システムについて、位置や範囲、縮尺などに着目して、目的や用途、内容、適切な活用の仕方などを多面的・多角的に考察し、表現する。	b, c	発表 課題
	■テーマ2 気候と生活文化 <b>グループ2 産業の進展によって変化する生活文化</b> ■テーマ 急速な経済発展で揺れ動く人々の暮らし(東アジア)	4	4 ・世界の人々の特色ある生活文化を基に、人々の生活文化が地理的環境から影響を受けたり、影響を与えたりして多様性をもつことや、地理的環境の変化によって変容することなどについて理解する。	a, b	プリント等の提出物 定期考査
	<b>グループ3 宗教に基づいた生活文化</b> ■テーマ イスラームと結び付く生活文化(西アジア・北アフリカ)	5	5 ・世界の人々の特色ある生活文化を基に、自他の文化を尊重し国際理解を図ることの重要性などについて理解する。 5 ・世界の人々の生活文化について、その生活文化が見られる場所の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して、主題を設定し、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し、表現する。	b, c	
前期	<b>グループ4 国家・民族・言語の結び付きと生活文化</b> ■テーマ 国家の統合と生活文化(ヨーロッパ) <b>前期期末考査</b>	4		b, c	

後 期	<p>■テーマ 移民国家の形成と生活文化 (北アメリカ)</p> <p><b>第2章 地球的課題と国際協力</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 人口問題の展開と対策</li> <li>2. アンバランスな人口分布</li> <li>3. 食料問題の要因と解決に向けた課題</li> <li>4. 食料問題への取り組み</li> <li>5. 都市・居住問題</li> <li>6. エネルギー資源の開発と限界</li> <li>7. 新たなエネルギー資源への取り組み</li> <li>8. 地球環境問題:地球温暖化</li> <li>9. 様々な場所で発生する地球環境問題</li> <li>10. 地球的課題の解決に向けた国際協力</li> </ol> <p><b>後期中間考査</b></p>	<p>5</p> <p>第2章</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 ・世界各地で見られる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などを基に、地球的課題の各地で共通する傾向性や課題相互の関連性などについて大観し理解する。</li> <li>1 ・世界各地で見られる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などを基に、地球的課題の解決には持続可能な社会の実現を目指した各国の取組や国際協力が必要であることなどについて理解する。</li> <li>1 ・世界各地で見られる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などの地球的課題について、地域の結び付きや持続可能な社会づくりなどに着目して、主題を設定し、現状や要因、解決の方向性などを多面的・多角的に考察し、表現する。</li> </ol> <p>1</p>	<p>b、c</p> <p>a、b、c</p>	
	<p><b>第3編 持続可能な地域づくりと私たち</b></p> <p><b>第1章 自然災害と防災</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 日本の自然環境</li> <li>2. 地震・津波</li> <li>3. 地震・津波への対策</li> <li>4. 火山災害と対策</li> <li>5. 風水害</li> <li>6. 風水害への対策</li> <li>7. 雪害・高温と対策</li> <li>8. 防災・減災への取り組み</li> </ol> <p><b>第2章 地域調査</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 課題の発見と事前調査</li> <li>2. 現地調査</li> <li>3. 調査結果の整理</li> <li>4. 調査結果の分析と考察</li> <li>5. 発表と報告</li> </ol> <p><b>後期期末考査</b></p>	<p>第1章</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>2 ・我が国をはじめ世界で見られる自然災害や生徒の生活圏で見られる自然災害を基に、地域の自然環境の特色と自然災害への備えや対応との関わりとともに、自然災害の規模や頻度、地域性を踏まえた備えや対応の重要性などについて理解させる。</li> <li>1 ・様々な自然災害に対応したハザードマップや新旧地形図をはじめとする各種の地理情報について、その情報を収集し、読み取り、まとめる地理的技能を身に付けさせる。</li> <li>3 ・地域性を踏まえた防災について、自然及び社会的条件との関わり、地域の共通点や差異、持続可能な地域づくりなどに着目して、主題を設定し、自然災害への備えや対応などを多面的・多角的に考察し、表現させる。</li> </ol> <p>第2章</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 ・生活圏の調査を基に、地理的な課題の解決に向けた取組や探究する手法などについて理解させる。</li> <li>1 ・生活圏の地理的な課題について、生活圏内や生活圏外との結び付き、地域の成り立ちや変容、持続可能な地域づくりなどに着目して、主題を設定し、課題解決に求められる取組などを多面的・多角的に考察、構想し、表現させる。</li> </ol>	<p>a、b、c</p> <p>a、b、c</p>	

計 70 時間 (50 分授業)

## 6 課題・提出物等

- ・ 課題、ワークプリント、その他の提出物が適宜あります。
- ・ 考査終了時などノートを提出して点検を受けます。
- ・ 長期休業中の課題は別途指示します。(レポートなど)

## 7 担当者からの一言

「地理総合」は、今回から新しくできた科目です。そして、必修科目なので必ず履修しないと卒業はできません。また、選択科目の「地理探求」も履修することができなくなります。

「地理」は地球上の複数の要素・事象を関連づけながら考えそして、空間をどうとらえるか、どう認識するかということが大切になります。そのために地図帳も必要になります。日本と世界の関係、出来事を結びつけて学びながら、変化し続ける私たちの社会の様々な課題を考えていきましょう。(担当：中村)

